

沖縄県におけるオスプレイの事故の原因究明と再発防止策及び安全性の
確認がないままで横田基地に飛来・配備しないことを求める決議

平成28年12月13日、沖縄県名護市の沿岸部で、米軍普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイが不時着水し、胴体が二つに折れ、プロペラが飛び散るなどの重大事故が発生した。

また、同日、別のオスプレイが故障によって、普天間基地に胴体着陸していたことが明らかになった。

羽村市議会は、平成26年7月17日付で「MV22オスプレイの横田基地への飛来について」によりオスプレイが横田基地に飛来することがないように要請するとともに、平成27年5月19日に全会一致で可決した「垂直離着陸輸送機CV-22オスプレイの横田基地配備に対する決議」によりオスプレイの安全性に対する疑問が払拭されていないことを指摘してきたが、今回の事故を受け、その疑問はますます大きなものとなった。

よって、羽村市議会は、今回の沖縄県におけるオスプレイの事故の徹底した原因究明と再発防止策及び安全性の確認がないまま横田基地へのオスプレイの飛来・配備が行われないう、強く求める。

上記のとおり決議する。

平成28年12月21日

東京都羽村市議会